

青年はなぜ死んだのか

カルテから読み解く精神病院患者暴行死事件の真実



嶋田和子 (しまだ・かずこ) 著

フリーライター。2010年にブログ「精神医療の真実」を立ち上げて体験談を募る。主著『ルポ精神医療につながる子どもたち』(彩流社、2013年)、『精神医療の現実—処方薬依存からの再生の物語』(萬書房、2014年)、『発達障害の薬物療法を考える』(彩流社、2017年)、『〈向精神薬、とくにベンゾ系のための〉減薬・断薬サポートノート』(2017年、萬書房) 他。

目次

- 第一章 暴行死
- 第二章 精神科受診
- 第三章 さらなる悪化への道
- 第四章 三度目の入院
- 第五章 統合失調症とは何だ？
- 第六章 精神科と自殺

積み重ねると三〇センチにもなるカルテを一つ一つ丁寧に読み解くことで見えてきたものは……精神医療の恐るべき無責任さと冷酷さだった。それを許しているのが日本社会に未だ巢食う「差別と偏見」だとしたら、誰もが青年の死と無関係とは言えない。

「精神医療の現実」第二弾！

青年は亡くなる少し前、母親に「僕の人生、どうしてこうなっちゃったんだろう」と言いながら涙を流したという。青年をあの事件のあった保護室まで運んでいったものの正体はいったい何なのか。多剤大量処方の末「飛び降り自殺」した青年の死の真実にも迫る。

ご注文申込書	貴店名・帖合	注文数	萬書房 TEL 045-431-4423 FAX 045-633-4252
		冊	青年はなぜ死んだのか 嶋田和子著 四六判並製 272頁 定価(本体2000円+税)
			ISBN978-4-907961-14-5 C0047

ご注文は JRC へ FAX 03-3294-2177 TEL 03-5283-2230

すべての取次へへの出荷が可能です。返品は長期にお受けいたします。(了解者 JRC 後藤)